

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 ディーエムソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6549 URL http://www.dm-s.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花矢 卓司  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉田 慎一郎 TEL 0422-57-3921  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,630	2.5	417	36.0	421	33.0	279	47.4
2023年3月期第3四半期	13,297	7.9	306	529.3	316	524.1	189	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 279百万円 (47.4%) 2023年3月期第3四半期 189百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	101.02	98.59
2023年3月期第3四半期	68.51	67.81

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,815	2,757	39.4
2023年3月期	5,602	2,477	42.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 2,684百万円 2023年3月期 2,405百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2024年3月期の配当は未定です。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,806	10.9	500	8.2	512	7.4	330	5.0	119.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	2,810,000株	2023年3月期	2,810,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	40,291株	2023年3月期	40,291株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	2,769,709株	2023年3月期3Q	2,769,745株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まった一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰等により、先行きの不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社はダイレクトマーケティング実施企業に対して、マーケティングの各局面において最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。また、積極的な人材採用を行い、営業力及び提供サービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は13,630,516千円（前年同期比2.5%増）、営業利益は417,254千円（前年同期比36.0%増）、経常利益は421,226千円（前年同期比33.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は279,785千円（前年同期比47.4%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### i) ダイレクトメール事業

ダイレクトメール事業におきましては、充実した営業体制を基盤に、企画制作からデザイン、印刷、封入・封緘作業を一括して手がけるワンストップサービスの提供、郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開いたしました。また、EC通販市場の拡大に伴い需要が増加している宅配便等の小口貨物を取扱うフルフィルメントサービスについては、サービス提供体制の強化に努めました。一方で、9月に新たなフルフィルメントセンターの設立のための土地建物を取得しており、これに係る取得関連費用が発生しております。

この結果、新規顧客の開拓及び既存顧客からの受注が堅調に推移し、売上高は11,900,884千円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は635,260千円（前年同期比2.7%増）となりました。

#### ii) インターネット事業

インターネット事業におきましては、コンサルティング型マーケティングサービスの提供を強化するとともに、これまで培ったWebサイトのコンテンツ制作ノウハウを活かしたパーティカルメディアサービス（注）にも引き続き注力いたしました。

この結果、売上高は988,853千円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は201,026千円（前年同期比68.8%増）となりました。

（注）パーティカルメディアサービスとは、特定の分野に特化した自社Webサイトの運営を通じて、利用者へ有益な情報や各種サービスを提供するサービスです。

#### iii) アパレル事業

アパレル事業におきましては、子会社である株式会社ピアトランスポート（以下、ピアトランスポート）の販売体制の整備充実を図るとともに経営体制の強化を進め、ピアトランスポートのサイトを通じた商品の販売の促進に努める一方で、為替やインフレ等の外部環境の影響を受けました。

この結果、売上高は740,777千円（前年同期比11.0%減）、セグメント利益は42,477千円（前年同期比51.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は6,815,912千円となり前連結会計年度末に比べ、1,213,902千円増加しました。これは主に、建物及び構築物の増加498,627千円及び土地の増加860,840千円があった一方で、受取手形及び売掛金の減少172,701千円があったことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は4,058,276千円となり前連結会計年度末に比べ、934,116千円増加しました。これは主に、長期借入金の増加1,084,608千円があった一方で、買掛金の減少155,858千円があったことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,757,636千円となり前連結会計年度末に比べ、279,785千

円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加279,785千円によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,323,650	1,246,684
受取手形及び売掛金	2,088,770	1,916,068
棚卸資産	170,762	308,772
その他	211,452	205,609
貸倒引当金	△7,539	△6,887
流動資産合計	3,787,096	3,670,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	200,166	698,793
土地	668,606	1,529,447
その他(純額)	283,001	319,641
有形固定資産合計	1,151,774	2,547,882
無形固定資産		
のれん	190,275	172,436
その他	49,460	38,008
無形固定資産合計	239,735	210,445
投資その他の資産		
その他	425,302	389,504
貸倒引当金	△1,898	△2,168
投資その他の資産合計	423,403	387,336
固定資産合計	1,814,913	3,145,664
資産合計	5,602,009	6,815,912
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,436,152	1,280,293
1年内返済予定の長期借入金	228,994	309,792
未払法人税等	106,231	106,904
賞与引当金	127,671	66,555
その他	574,194	560,688
流動負債合計	2,473,244	2,324,234
固定負債		
長期借入金	643,434	1,728,042
その他	7,481	6,000
固定負債合計	650,915	1,734,042
負債合計	3,124,159	4,058,276
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	342,591	342,591
資本剰余金	268,758	268,758
利益剰余金	1,844,067	2,123,853
自己株式	△50,292	△50,292
株主資本合計	2,405,123	2,684,909
新株予約権	72,726	72,726
純資産合計	2,477,850	2,757,636
負債純資産合計	5,602,009	6,815,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,297,051	13,630,516
売上原価	11,060,613	11,266,585
売上総利益	2,236,437	2,363,930
販売費及び一般管理費	1,929,584	1,946,676
営業利益	306,853	417,254
営業外収益		
受取利息	4	91
受取配当金	13	13
持分法による投資利益	8,936	7,289
助成金収入	1,376	1,306
為替差益	2,103	—
その他	2,958	3,707
営業外収益合計	15,393	12,407
営業外費用		
支払利息	3,926	7,633
支払手数料	1,693	378
為替差損	—	199
その他	23	224
営業外費用合計	5,642	8,435
経常利益	316,604	421,226
特別損失		
減損損失	26,878	—
特別損失合計	26,878	—
税金等調整前四半期純利益	289,725	421,226
法人税、住民税及び事業税	99,970	141,440
四半期純利益	189,755	279,785
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,755	279,785

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	189,755	279,785
四半期包括利益	189,755	279,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,755	279,785
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,449,155	1,015,215	832,680	13,297,051	—	13,297,051
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,902	—	2,994	5,896	△5,896	—
計	11,452,057	1,015,215	835,674	13,302,948	△5,896	13,297,051
セグメント利益	618,344	119,068	28,066	765,479	△458,625	306,853

(注) 1. セグメント利益の調整額△458,625千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産である新宿オフィスに係る固定資産について、新宿オフィスの閉鎖の意思決定を行ったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては26,878千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,900,884	988,853	740,777	13,630,516	—	13,630,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,448	—	2,133	4,582	△4,582	—
計	11,903,333	988,853	742,911	13,635,098	△4,582	13,630,516
セグメント利益	635,260	201,026	42,477	878,764	△461,509	417,254

(注) 1. セグメント利益の調整額△461,509千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。